

日本橋七の部地域まちづくりビジョン2022

令和4年9月 中央区

日本橋七の部地域まちづくりビジョン 平成29年1月 策定

目次

1. はじめに	01
2. まちづくりの目標と指針	03
指針1-1. 兜町金融拠点の形成に必要な導入機能	04
指針1-2. 地域全体のにぎわいの創出に必要な導入機能	05
指針2. 通りごとの特色付けと歩行者空間の整備による回遊性の創出	06
指針3. 防災力の向上とみどり豊かな潤いある環境整備	08

1. はじめに

■ビジョン策定の目的

日本橋七の部地域（日本橋兜町・日本橋茅場町）（以下「当地域」という。）は、日本橋地区とともに古くからの金融関連機能の集積があり、東京証券取引所（以下「東証」という。）の存在や地域が有する固有の歴史性と相まって、本区を特色付けるまちの一つである。

当地域の中でも、永代通り以南は比較的住宅用途が多く、飲食店を中心としたにぎわい機能が集中している。一方、永代通り以北は早くに高度利用が進んだエリアであり、歴史的建築物や路地空間の存在など、特徴的な街並みを有している。このため、多くの建物が建替え時期を迎えているものの、個別建替えがなかなか進まない状況である。

個々の建物の更新や建物の共同化・街区再編による基盤整備など、多様な形で地域全体の段階的更新を図る上で、金融関連機能集積地を含む地域の特性や課題に着目した「地域共通のまちづくりへの取り組み」が必要である。そのため、まちの将来像として「日本橋七の部地域まちづくりビジョン」を定め、まちづくりの目標と目標実現に向けた指針を示すことにより地域の課題解決やさらなる発展を目指す。

■ビジョン改定にあたって

平成29年1月のビジョン策定以降、兜町金融拠点内では「KABUTO ONE」が開業し、周辺地域においても首都高速道路の地下化と連携したまちづくりが進められている。

また、気候危機や新型コロナウイルス感染症の感染拡大など社会状況がめまぐるしく変化しており、本区においても気候危機に対応するため、令和3年3月に「ゼロカーボンシティ中央区宣言」を行っている。さらに、コロナ禍を契機にテレワークなど働き方の多様化が急速に進んでいる。

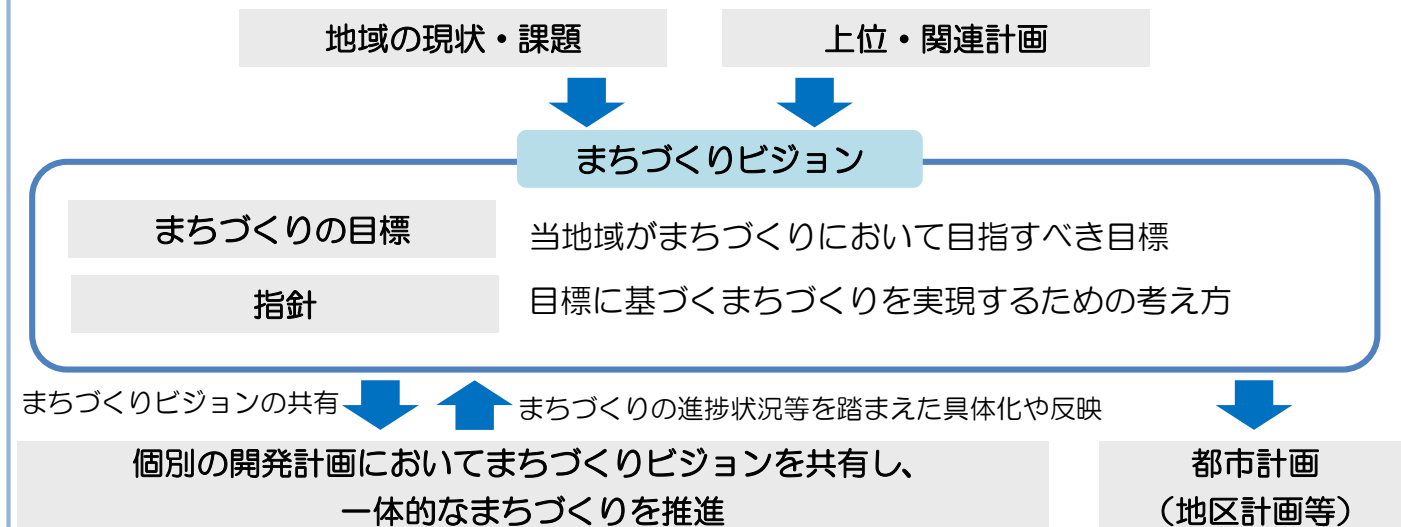
一方で、金融業界においては、フィンテックの活用等による金融のデジタルイゼーションといった新たな取組が進められている。

こうしたまちづくりの動向と社会状況の変化を踏まえ、金融業界の新たな取組を支援し、兜町金融拠点の継続的な発展に資するまちづくりを推進するとともに、地域資源を活かした特徴ある魅力的な街並みの形成を推進し、にぎわいの創出と回遊性の向上を図るため、本ビジョンを改定する。

■ビジョンの位置づけ

本ビジョンでは、地域の特性や課題に着目した地域共通のまちづくりへの取り組みを進める上で共有すべき「まちづくりの目標」と目標実現に向けた「指針」を示している。

本ビジョンを地域内外に広く発信することにより、当地域における一体的なまちづくりを推進するとともに周辺地域のまちづくりとも連携を図る。また、本ビジョンは、まちづくりの動向や社会状況の変化等を踏まえて今後適切に見直しを図ることとし、必要に応じて地区計画等への反映を行う。



◆まちづくりビジョンの対象範囲

本ビジョンの対象範囲は下図に示す範囲とする。
また、当地域において、東証を始めとした金融関連機能が集積しているエリアを、「兜町金融拠点」として位置づける。



■当地域の現状

○東証の場立ち廃止以降、証券会社の東証周辺への立地メリットが低下。金融業を中心に地区外移転が続いた結果、東証周辺の飲食店等の商業用途の減少やマンション化など、地域のにぎわいの低下といった傾向がみられる。

○一方で、旧第一銀行別館（1923年竣工）がホテルにフルリノベーションされたり、路地裏空間にあった老舗飲食店がスタイリッシュなカフェやバーなどにリノベーションされるなど地域の特色を活かした、にぎわいある空間が形成されている。こうした地域資源を活用したまちづくりが個別に行われ始めていることにより、当地域独自の魅力のあるにぎわい空間が創出され、ビジネスシーン以外でも訪れたい魅力が増え始めている。

○阪本小学校・坂本町公園の再整備がなされ、地域住民が主体となって公園を管理するなど新たな地域活動が生まれている。

○兜町金融拠点内には「KABUTO ONE」が開業し、新たに大規模ホールやブックラウンジ等が整備された。

○東証の取引所機能が多様化しており、金融関連のセミナー、イベントの開催等に伴う来訪者が快適に滞在することができる施設のニーズが高まっている。

○一部、マンションの立地により、夜間人口の増加も見られ、居住者のコミュニティの場のニーズも高まっている。

○周辺地域で進められているまちづくりとの連携やにぎわい形成が求められている。

■当地域の抱える課題

【1. まちとしてのにぎわい】

- ・永代通り以北では業務に偏った用途構成のため、まちとしてのにぎわいが希薄
- ・永代通り以南では低層部の飲食店を中心ににぎわいの要素はあるが、その魅力が生かされていない
- ・単身者マンション等の小規模開発の進行によるコミュニティへの影響が懸念
- ・町会活動等の担い手の減少
- ・多くの来訪者が東証・証券会館等を訪れるものの、まちで滞在する機能が不足

【2. 都市空間・環境】

- ・駅や歩道のバリアフリー化の未対応及び地下鉄出入口の混雑
- ・子育て支援施設の不足（企業向けの保育所等）
- ・兜町金融拠点にふさわしいビジネスサポート機能が不足
- ・歴史的建築物などの地域資源が当地域内に多く存在するが、まち全体として活かされていない
- ・地域全体での緑が不足
- ・国際金融都市として省エネルギー化などによる脱炭素社会の実現に向けた取組が不足

【3. 防災性】

- ・細街路で区画された小規模街区が大半を占め、オープンスペース等の確保が困難（災害時の一時滞在施設が不足）
- ・建物更新が進まず、大半が旧耐震と想定される中小規模建物を占める

【4. 建物更新の阻害要因】

- ・幹線道路沿道において、容積超過建物（既存不適格）が複数存在

【5. 金融ビジネスに係る機能の課題】

- ・東証や金融業界団体が主催のセミナー等を開催するスペースが不足
- ・上場企業の決算発表等に併せた企業PR実施ニーズへの対応が困難



バブル期に比べて証券会社が減少



現状の幹線道路沿い
（築古建物も多い）

■上位計画・関連計画における位置づけ

国家戦略特別区域（国 平成25年12月）

- ・国際的な経済活動拠点の形成を促進する観点から、国が定めた国家戦略特別区域において、規制改革等の施策を総合的かつ集中的に推進
- ・平成27年6月に日本橋兜町・日本橋茅場町一丁目、東京圏国家戦略特区における新規の都市再生プロジェクトとして位置づけられた



国家戦略特区シンポジウム（都 平成27年6月）

都市再生緊急整備地域の地域整備方針(国 令和2年1月改定)

- （日本橋・八重洲・銀座・兜町・茅場町・八丁堀）
- ・老朽建築物の機能更新や土地の集約化等により、歴史と文化を生かしたうるおいと風格ある街並みを形成しつつ、国際的な業務・金融・商業機能や高度な業務支援機能・生活支援機能等が適切に調和した魅力ある複合機能集積地を形成
- ・業務・金融・商業機能等を高度化と、これらを支える多様な機能の導入と居住・宿泊機能等を強化
- ・建築物の更新により整備される敷地内空地や地下歩道などのネットワーク化等により安全・快適な歩行者空間を確保
- ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実
- ・ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導
- ・国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮

「国際金融都市・東京」構想2.0（東京都 令和3年11月）

- ～ サステナブル・リカバーを実現し、世界をリードする国際金融都市へ～
- ・社会的課題の解決に貢献する分厚い金融市場の構築
- ・フィンテックの活用等による金融のデジタル化
- ・資産運用業者をはじめとする多様な金融関連プレイヤーの集積

都市づくりのグランドデザイン（東京都 平成29年9月）

- ＜八丁堀・茅場町＞
- ・公共・公益施設の再編や土地の高度利用により、業務機能の高度な集積に加え、商業や生活利便施設、住宅などが立地し、大丸有地区等へのアクセス性を生かした、複合的な拠点が形成
- ・金融機能等が集積し、日本橋・大手町方面へとつながる国際金融軸が形成

国際戦略総合特別区域計画（アジアヘッドクォーター特区）（内閣府 令和3年3月変更認定）

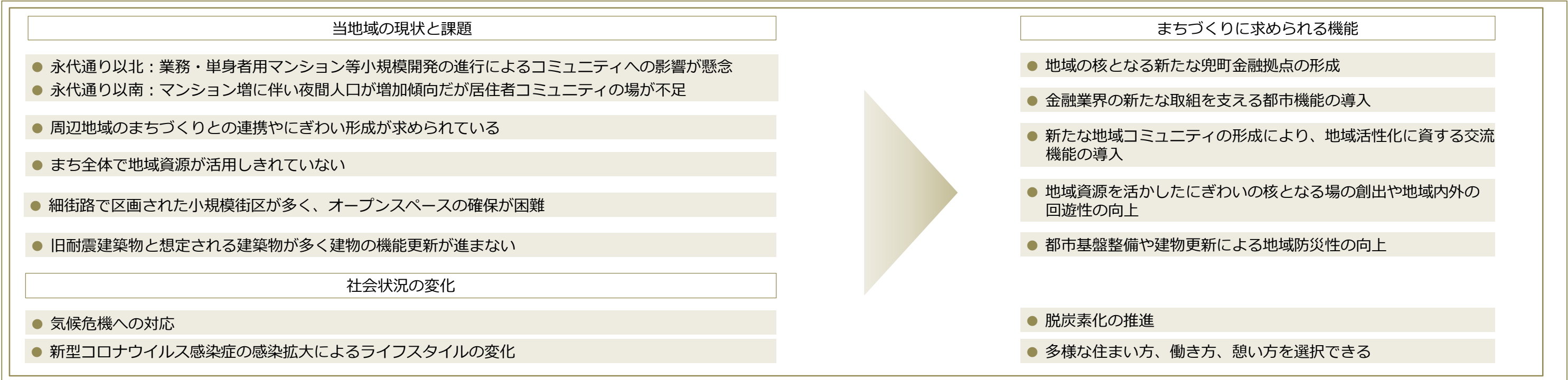
- ・金融系外国企業の誘致に取り組むとともに、第4次産業革命関連企業の中でも特にデータ関連企業の誘致強化に取り組む
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を契機とする、ビジネス展開の変化にも対応しつつ、誘致活動を推進

中央区基本計画2018（中央区 平成30年3月）

- ・観光拠点やその拠点を支援する複合市街地、水辺などの自然環境をいかした良質な都心生活地を形成
- ・有形・無形の歴史的遺産を活用した国際都市東京の中心にふさわしい魅力的な都市機能と景観が融合した、風格あるまちを形成

2. まちづくりの目標と指針

◆まちづくりに求められる機能



◆まちづくりの目標

日本橋七の部地域の核となる新たな兜町金融拠点の形成 まち全体のにぎわいと回遊性の創出

◆目標実現に向けた指針

指針1-1 兜町金融拠点の形成に必要な導入機能 ● 兜町金融拠点としてふさわしい多様な業務環境を整備 ● 金融ビジネスサポート機能の整備 ● 金融業界の育成機能や投資家と企業との交流機能	指針1-2 地域全体のにぎわいの創出に必要な導入機能 ● 就業者、来街者、居住者が交錯し、地域コミュニティを形成する交流機能と地域の歴史・文化の継承 ● 地域資源を活かしたにぎわいの核となる場を創出 ● にぎわい継続のための担い手づくり、仕組みづくりの推進	指針2 通りごとの特色付けと歩行者空間の整備による回遊性の創出 ● 業務地区としての風格と界隈性を併せ持つ地域特性を活かした通りごとの街並み形成 ● 街区内の回遊性を高める環境・空間整備	指針3 防災力の向上とみどり豊かな潤いある環境整備 ● 不燃化、耐震化を促進し、より競争力の高い業務地区としての環境を整備 ● 特に兜町金融拠点においては災害時の事業継続性の確保と帰宅困難者受入対応環境を整備 ● 地域資源を活かした緑豊かな憩いの空間づくりと水辺を活かした潤いある空間づくりを推進 ● 特に兜町金融拠点においては先進的な省エネルギー等の取組を実践し、環境に配慮したまちづくりを推進
--	---	--	---

指針１－１． 兜町金融拠点の形成に必要な導入機能

兜町金融拠点の継続的な発展のために、今後求められる多様な業務環境を整えとともに、金融関連セミナーやイベント等による来訪者が快適に滞在できるような機能整備を図る。

また、東証や証券業界と連携し、金融ベンチャー企業の起業・人材育成や投資家と企業間との交流、資産運用系フィンテック企業・国内外の新興資産運用会社の集積促進活動・支援に資する機能を導入する。

《金融軸沿いの各地区の役割分担イメージ》



【大手町地区】

○導入機能のイメージ

- ・日本を代表するオフィス街
- ・主要金融関連機能の集積
- ・グローバル企業・大企業（本社機能等）

○開発のイメージ

- ・品格ある街並み
- ・大街区化された都市基盤

【日本橋地区】

○導入機能のイメージ

- ・日銀を中心とした金融関連機能の集積
- ・製菓業界の集積
- ・グローバル企業・大企業（本社機能等）

○開発のイメージ

- ・国際化対応の高規格な居住機能
- ・品格ある街並み
- ・大街区化による都市基盤の再編

【兜町・茅場町地区】

○導入機能のイメージ

- ・東証を中心とした金融関連機能の集積
- ・資産運用を中心とした金融ベンチャー企業や金融専門サービス業者等の発展への貢献
- ・投資家と企業の対話・交流促進
- ・主として外国人をターゲットとした高度金融人材の受入促進

○開発のイメージ

- ・界隈性ある街並み
- ・既成市街地の段階的更新



[取組例]

《資産運用を中心とした金融ベンチャー企業の発展、フィンテック企業等の集積促進に資する機能》

- フィンテックも含む金融ベンチャー企業等に適した業務環境の提供
 - ・企業や個人投資家層への情報発信の場（サロン、プレゼンテーションルーム等）
 - ・大学院、金融業界等による専門人材育成支援の場（セミナールーム等）
 - ・デジタイゼーション等により多様化するニーズに対応可能な規模のワークスペース等
 - ・セキュリティ対策、情報通信設備が整ったワークスペース等

《多様化する働き方に柔軟に対応する業務機能》

- 多様化する働き方に対応するワークスペース施設の整備
 - ・サテライトオフィス、シェアオフィス等

《投資家と企業の対話・交流促進や国内外への情報発信に資する機能》

- 投資家と企業との対話・交流施設の整備
 - ・企業の決算説明等の会場不足を補完するセミナーホール等
 - ・機関投資家や資産運用会社と上場企業との対話サロン等
 - ・投資家、社会人、学生向けのセミナー、起業家向けプログラム等の会場（ホール、会議室等）
- 上場企業や金融資本市場に関する国内外への情報発信施設の整備
 - ・国際カンファレンスや上場会社の決算説明、企業PR実装等の多様なニーズに応じた会場（大規模ホール、会議室等）
- 銀行・証券取引発祥の地の歴史を伝える「金融資本市場ミュージアム」等の整備

《日本の金融資本市場の“顔”としての情報発信機能》

- 大規模株価ボード、ティッカー等（情報発信のアトリウム空間等）

《主として外国人をターゲットとした高度金融人材の受入促進に資する機能》

- 海外の金融関連企業等の進出にも対応した英語対応が可能な生活環境機能、生活サポート機能の整備（ライブラリー、ワークスペース等）
- ・外国人児童等を受け入れるインターナショナルスクール等
- ・外国人にも対応可能な子育て支援施設等
- 国内外からの来訪者のための宿泊・滞在機能
 - ・金融セミナー等で街を訪れる多くの来訪者の、地域内での滞在に寄与する飲食店やカフェ、ビジネスラウンジ等
 - ・国内遠方や海外からの来訪者が家族で短期間滞在する際にも利便性の高いホテル、サービスアパートメント等

《多くの来訪者のスムーズなアクセスを支える案内機能・交通機能》

- 海外金融関連企業や海外の金融人材の来訪に対応した案内設備等
- 上場会社トップ等の自動車によるアクセスを想定した車寄せや待合スペース等



大規模ホールのイメージ



中規模カンファレンスホールのイメージ



情報発信・PRの場のイメージ



資産運用業者のオフィス環境イメージ



セミナーホールのイメージ



金融資本ライブラリーのイメージ



情報発信機能のイメージ

指針１－２．地域全体のにぎわいの創出に必要な導入機能

① 地域のにぎわい創出のための機能

界限性を有するまちの特徴を活かし、就業者・来街者・居住者が交錯し、地域コミュニティを形成する交流機能をまちの低層部で整備する。地域への訪問動機が多様化を図るため、地域資源を活かしたにぎわいの核となる場を創出する。

〔取組例〕

《オフィスワーカーの活動・交流機能》

- オフィス以外でのビジネス活動の場
 - ・多様なワークスタイルを支えるコワーキングスペース等
- 自己啓発・異業種交流の場
 - ・セミナー、カンファレンスのための空間（ホール、会議室等）

《地域活動やにぎわい・憩い・交流の拠点となる場》

- 憩い集いの場
 - ・まちのイベントやワーカーの休息など、多様なシーンに対応できるコミュニティカフェ・広場等
- まちの情報発信の場
 - ・まちづくりフォーラム、展示スペース等
- 町会・協議会等の地域活動の場
 - ・コミュニティスペース・広場等
- 既存居住環境と共存するにぎわいの場
 - ・建物低層部での飲食店等

《地域資源の活用や文化施設整備等による積極的な観光客の誘致・都市観光の推進》

- 地域の歴史・文化の伝承や地域活性化に関する施設の導入
 - ・証券ミュージアム、銀行発祥の地等を活かしたライブラリー
 - ・地域イベントなどを開催することができる劇場、音楽ホール等
 - ・ギャラリーや美術館などの文化施設
- 地域資源を活かした界限性のある場
 - ・にぎわいの核となる地域資源への回遊性向上に資する空間
 - ・歴史的な建築物の保存・再生による利活用
- 日本橋川や亀島川を活かしたまちづくり
 - ・日本橋川や亀島川といった水辺空間と一体となった快適な空間
 - ・川沿いに業務機能のほか、良好な居住機能や飲食店等
- 国内外の観光客のアクセスに対応する交通機能の導入
 - ・観光バス等の駐車場や車寄せ、待合スペース等
 - ・英語表記を含むサインの統一化



コワーキングスペースのイメージ



コミュニティカフェのイメージ



コミュニティスペースのイメージ

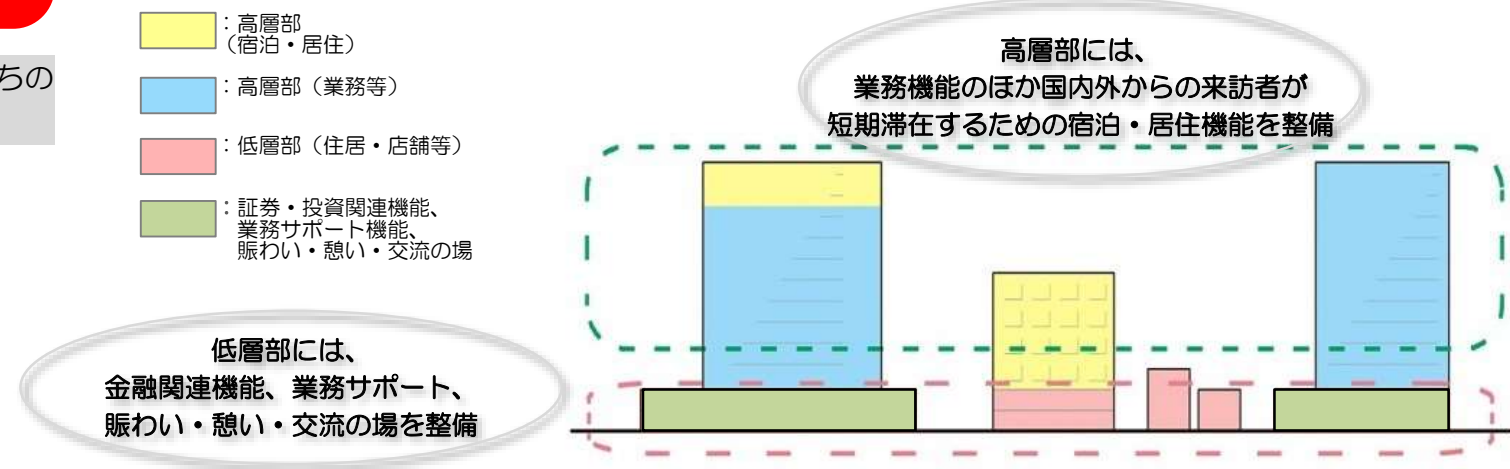
② 地域のにぎわいを継続させる担い手、仕組みづくり

多様な活動・交流をする「人の増加」「場の増加」といった活性化の好循環を創出するために、地元・企業が連携して積極的に担い手づくり、仕組みづくりを行う。

〔取組例〕

- 町会活動や開発事業者等が連携したまちの運営体制づくり、地域住民と地元企業が一体となったまちづくり団体の組成
- 地域固有の魅力的な資源に触れる機会を増やし、地域に愛着を有する人材の育成
 - ・お祭りや地域イベント等への参加による地域コミュニティの継承・発展
 - ・イベント時の地域資源の活用、街歩きガイドツアー
- 歴史のある小学校を核として、世代を超えた地域貢献の担い手づくり
- イベント開催・地区外への街のPR（告知する場所の整備やメディア、webサイト等）の充実、継続的なまちの運営
- ガーデニング等による企業やまちの人が一体となれる交流の仕組みづくり
 - ・坂本町公園における町会主体の自主管理組織の設立、企業や住民参加による持続的な担い手づくり

【幹線道路や回遊軸に沿った層ごとの機能イメージ】



【多層的な活動・交流の展開によるブランディングイメージ】



指針2. 通りごとの特色付けと歩行者空間の整備による回遊性の創出

①通りごとの特色

金融ビジネスを中心とした業務地区としての風格、路地空間が生み出す界隈性の感じられるにぎわい等、通り毎に多様なシーンを展開するとともに、まとまって存在する歴史的建築物や日本橋川・亀島川といった特徴的な空間を活かし、にぎわいにあふれ、回遊性の高いまちを目指す。

○広域幹線道路

- 永代通り：金融軸として日本橋・大手町へとつながり業務地区を形成する風格ある通り
地下鉄茅場町駅と地上を結び、滞留空間やバリアフリー動線の確保を図る
極力大きな壁面後退を避け、日本橋エリアと統一感のある、連続する街並みを形成
- 新大橋通り：業務・商業機能のほか、秋葉原などの観光地や、銀座などの商業地に地下鉄でのアクセスが容易な立地条件を生かした、来街者の受皿となる宿泊機能の立地誘導

○地区内幹線道路

- 平成通り：永代通り以北は、兜町金融拠点機能を象徴した東証へのアプローチ空間としての顔づくり
永代通り以南は、地域の核となる小学校や公園、店舗によるにぎわいを形成
広幅員を活かした安全安心な歩行者空間と自転車走行空間の確保を図る

○地区内回遊道路

- 兜町東西軸：まちの魅力・価値向上に資する「人の活動」の感じられる通り
ゆとりある歩行者空間の整備とにぎわいの演出を図る
- 茅場町東西軸：さくら並木による良質で快適な沿道環境を活かしながら、にぎわいを形成
- 茅場町南北軸：八丁堀からの連続性を意識し、兜町金融拠点までのにぎわいを形成
- 日本橋連携軸：日本橋方面とつながる自動車と歩行者が共存する街路空間の形成を目指す通り

○地域資源回遊道路

- 兜町金融拠点内の幹線道路や各軸間の街区への歩行者の回遊性を補助し、地域資源を活かしたにぎわいのある街並みを形成

参考：まちに残る歴史の面影

①日本橋日枝神社(山王祭り)

江戸時代初期から行われている山王祭。日本橋日枝神社は、御神輿が休憩する場所「御旅所」として位置付けられている。かつての神社境内には天満宮、稲荷社、浅間社のほか、山王の本地とされる薬師堂や閻魔堂も建立され、縁日や勧進相撲も行われていた。
現在でも境内地では年間を通して様々な行事が行われており、兜町・茅場町の人々の心の拠り所となっている。



③界隈性のある路地裏空間

かつての証券マン達を支えてきた路地裏空間。『うなぎのぼり』の縁起物として有名であった老舗の鰻屋を含んだ複数の飲食店舗が軒を連ねていた。
近年では、鰻屋は閉店してしまったが、居抜き店舗を活用したクラフトビールや喫茶店の開業により新しい賑わいと界隈性のある路地空間を創出している。



指針2. 通りごとの特色付けと歩行者空間の整備による回遊性の創出

②歩行者優先の環境づくり

地区内幹線道路は広域的なネットワークとして、歩行者環境の充実を図り、歩車分離を図る。
地区内回遊道路は歩行者優先の通りとして、通過交通流入、路上駐車抑制をすると共に、**ゆとりある歩行者空間の確保と沿道のにぎわい形成**を図る。また、面的な回遊性向上に向け、地区内側の歩行者ネットワークの整備や、沿道だけでなく街区にも、くつろいだり、活動できる**滞留空間等**の回遊性の向上に寄与する**空間整備**を行う。
地域資源回遊道路は兜町金融拠点内の幹線道路や各軸間の街区への歩行者の回遊性を補助する通りとして、壁面後退等による歩行者空間の確保や**地域資源を活かしたにぎわいのある街並み形成**を図る。

- 【取組例】
- ゆとりある歩行者空間の確保

○沿道にぎわい形成

○滞留空間等の形成

○自転車交通との共存

○地域資源を活かした街並み
- ・壁面後退等による歩道と合わせた歩行者空間確保

・壁面位置やにぎわいの連続性に配慮した一体感のある景観形成

・主に幹線道路及び地区内回遊道路沿道に対し、1階部分への商業用途の誘導

・アトリウム、ポケットパーク、神社境内、貫通通路、路地空間等

・緑化する等良質で快適な空間を創出

・コミュニティサイクル、公共的駐輪場等の整備

・自転車走行空間の整備

・地域資源や街路規模に合わせた歩行者空間の整備

・地域資源を活かしたにぎわいの演出

・既存の路地空間の美装化

③茅場町駅から地上に至る歩行者動線の考え方

地下鉄駅からの地上・地下バリアフリー動線を確保すると共に、地下通路や地下広場等のたまり空間整備により、駅から街区内に人を引き込む**空間整備**を行う。特に永代通り・平成通りの交差点等においては、**地域の顔となる開放的な空間整備（ゲート空間）**を行う。

- 【取組例】
- バリアフリー動線

○街区内に人を引き込む空間

○開放的なゲート空間
- ・エレベーター等

・地下通路、地下広場等

・サンクンガーデン、アトリウム等

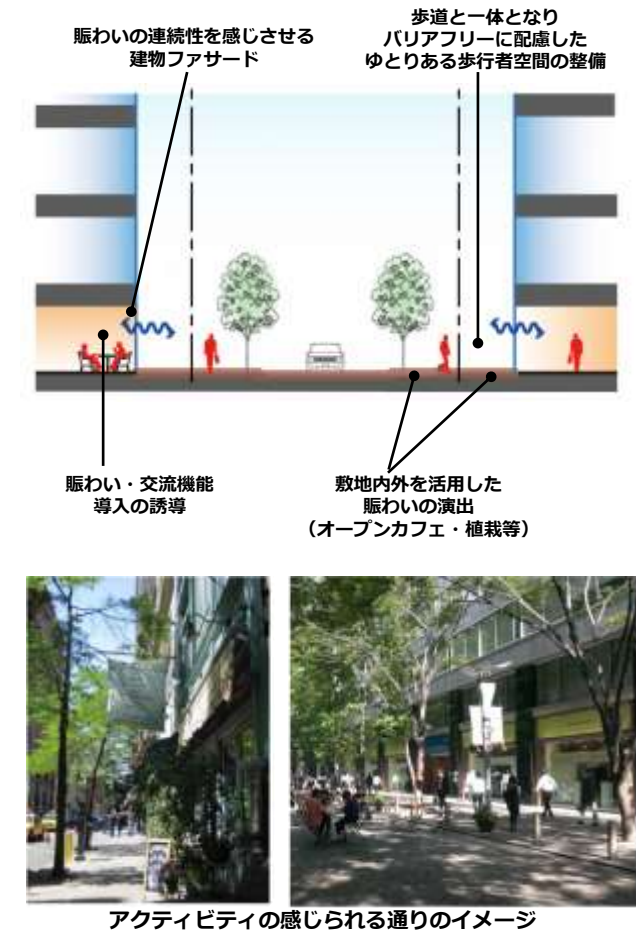
④周辺地域との連続性・回遊性の創造

日本橋や八丁堀、新川、小網町・人形町など特色あるまちに囲まれた日本橋七の部地域の立地を活かしながら、周辺地域との連続性・回遊性を創造していくことにより、**地域全体の付加価値を高め、相乗効果を生み出していく。**

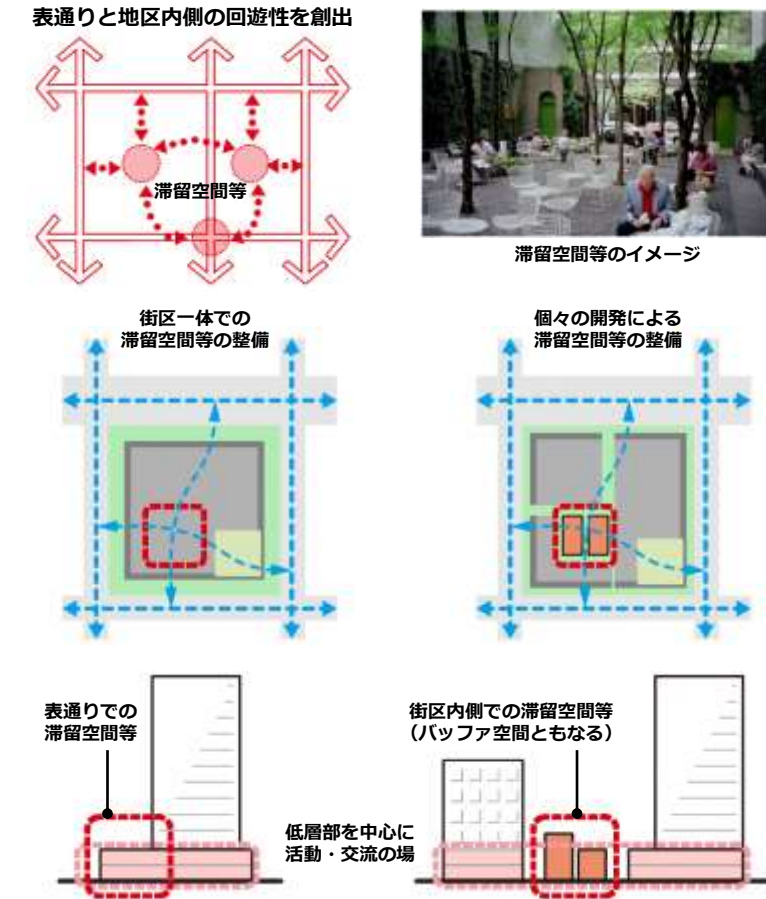
⑤景観形成の考え方

- ・壁面後退により歩行者空間の拡充を図るとともに、特に幹線道路や地区内回遊道路に面する部分においては、低層部のにぎわいの連続性に配慮した景観形成を図る。
- ・地域資源回遊道路沿いにおいては、地域資源を活かした統一的な環境整備に配慮し、人の活動やまちの歴史を感じられる空間形成を図る。
- ・川沿いにおいては、川に向かう貫通通路や広場を整備するなど歩行環境に配慮しつつ、川からの景観に配慮し、魅力的な水辺景観の形成を図る。
- ・街区再編等を行い高度利用を図る地区においては、周辺の街並みとの調和や圧迫感の軽減に努めることとし、特に兜町金融拠点の広域幹線道路及び地区内幹線道路沿いについては、軒線・表情線の連続性に配慮することにより、大手町・日本橋とつながる金融軸を意識した一体感のある通りの景観の形成を図る。

【地区内回遊道路の整備イメージ】



【滞留空間等のイメージ】



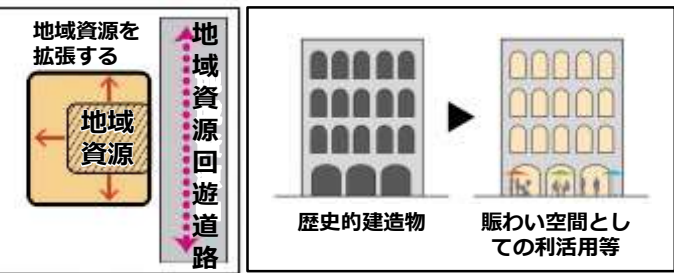
【地域資源回遊道路の整備イメージ】

地域資源回遊道路沿いで街区再編等を行い高度利用を図る地区においては、以下の事項に配慮し、地域資源を活かした整備を行う。

① 地域資源の拡張・再生

既存の地域資源を核に、地域資源回遊道路に対し連続した空間整備や地域資源の拡張や再整備

○整備イメージ図



例）連続した空間整備による地域資源の拡張

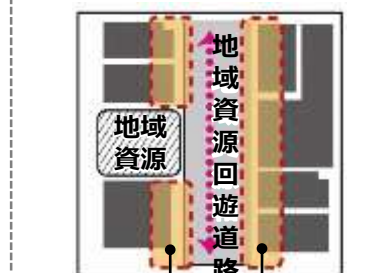


例）歴史的建築物の活用・再生による賑わいの創出

② 地域資源を活かした統一的な環境整備

地域資源と地域資源回遊道路が一体となった界限性を有する特徴的な街並み整備

○整備イメージ図

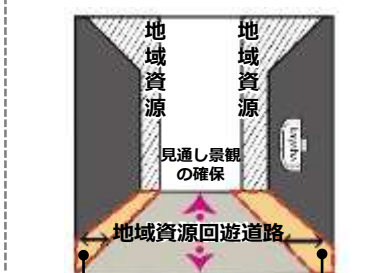


例）地域資源と一体となった空間・景観整備

③ アクセス性の向上

地域資源へのアクセス性を高める歩行空間や見通しの確保、サインやインフォメーションの整備等

○整備イメージ図



例）地域資源に関するインフォメーション整備

指針3. 防災力の向上とみどり豊かな潤いある環境整備

① 防災

〇地域全体での防災力の向上について

建物の不燃化・耐震化を促進し、まち全体として、災害時の安全性を確保できる基盤整備を行うことで、より競争力の高い業務地区としての環境を整備する。

- [取組例]
- 旧耐震建物（特に緊急輸送道路沿道）の耐震化・不燃化を促進
 - 水害リスクに対応した止水板設置、地上階電気室整備
 - 建物規模等に応じた防災備蓄倉庫の設置

〇兜町金融拠点における災害に強い基盤整備について

金融ビジネスを中心とした業務環境のベースとなる各種インフラの防災性を高めることで、災害時の事業継続性を確保するとともに地区内外の就業者・来街者の帰宅困難者受入対応環境を整える。

- [取組例]
- 街区再編による細街路の再整備等、安全な道路整備の推進
 - 日本橋川に面した船着場や建物屋上のヘリポートの整備等により、道路以外の輸送ルートの多重化を促進
 - 電線地中化の推進
 - 非常時における建物間電力融通
 - エネルギー供給停止時にも利用できる、CGSや非常用発電設備、井水利用設備等の導入
 - 帰宅困難者受入対応（一時滞在施設等の整備）
 - 災害時の帰宅困難者（就業者・来街者）のための情報提供・防災備蓄倉庫・災害用マンホールトイレの整備
 - デジタルサイネージ等による災害時の情報伝達手段の確保
 - 地域住民や企業、開発事業者が連携した災害に対するネットワークの形成



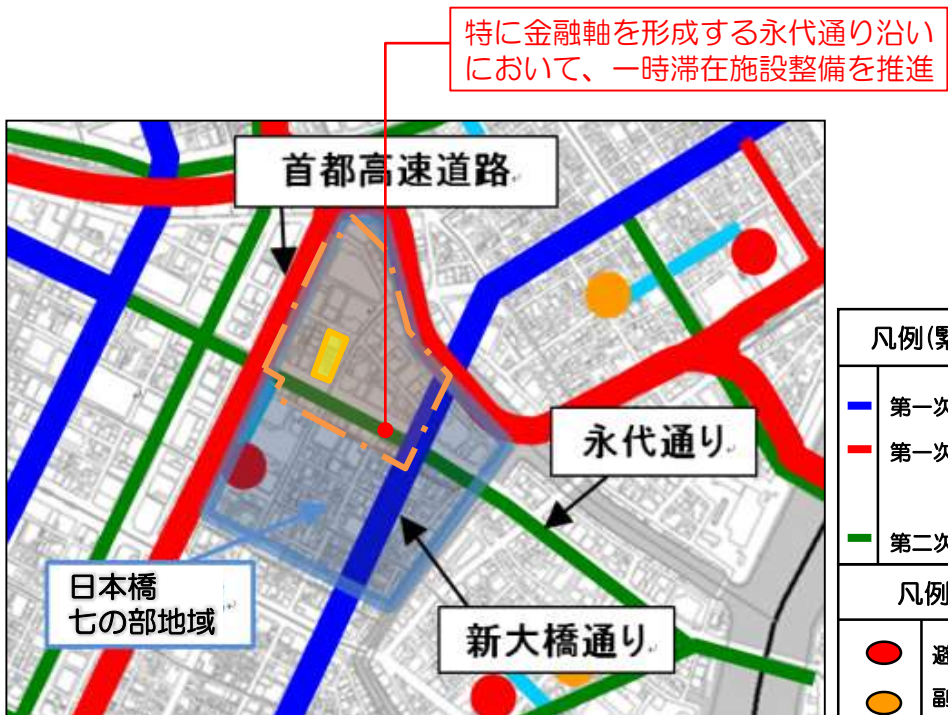
一時滞在施設のイメージ



防災備蓄倉庫のイメージ



災害用トイレのイメージ



凡例(緊急輸送道路)	
—	第一次緊急輸送道路
—	第一次緊急輸送道路 (高速道路)
—	第二次緊急輸送道路
特定緊急輸送道路	
凡例(避難所等)	
●	避難所
●	副拠点
—	避難所等への経路
 	一時滞在施設等

② 環境

〇地域全体での緑の充実、日本橋川・亀島川や神社・坂本町公園を活かした空間づくりについて

既存の街路樹や緑化空間、神社・坂本町公園を活かした連続的な沿道緑化や緑豊かな憩いの空間づくり、日本橋川・亀島川を活かした潤いある空間づくりを推進。

- [取組例]
- 歩行者ネットワーク沿いやオープンスペースの緑化の推進
 - 壁面・屋上等も活用した重層的な緑化による緑視率の向上
 - 日本橋川沿い・亀島川沿いで緑化の推進
 - 水辺のオープンスペースの創出
 - グリーンインフラ（暑熱緩和や雨水浸透・貯留などの緑が持つ多様な機能を活用した取組）の推進



日枝神社における既存のまとまった緑



重層的な緑化のイメージ



川と一体となった空間づくりのイメージ

- 街路樹・接道部緑化の充実
- 地区の象徴となるオープンスペースでの緑化の推進
- 日本橋川沿い・亀島川沿いで緑化の推進
- 川への視認性の向上

〇兜町金融拠点における省エネルギー等の環境に配慮した先進的な取組の実施

脱炭素社会の実現に向けて、国際金融都市にふさわしい、先進的な省エネルギー等の取組を実践し、環境に配慮したまちづくりを推進。

- [取組例]
- 建物の省エネルギー化や省エネ設備の導入によるZEBの実現
 - 再生可能エネルギーや未利用エネルギーの積極的な活用（特に、屋根置きなどの自家消費型太陽光発電の導入）
 - エネルギー管理システムなどの導入
 - 開発に合わせた周辺道路の表層整備